

市職員の相談窓口について



大豆生田 春美 議員

質問… 内部告発の通報や相談を受け付ける職員用の窓口を設置すべきと思うが考えを伺いたい。

答弁… 通報窓口の明確化については、県内14市中10市が職員からの公益通報のための規程を明文化しており、本市においても公益通報について明文化した内部規程を整備し、窓口を明確化したいと考えている。

質問… 今後十分な検討して、早

めの対応をお願いしたいが、どうか。

答弁… まとまった規程として公益通報の庁内の窓口を明確に、そして通報の手順、さらに改めて通報に対しての不利益処分が行われないという規程を明文化することによって、職員のコンプライアンス意識が高まると思うので、なるべく年度内には整備したいと考えている。

質問… 心身の健康状態を相談できる窓口には保健師の配置をしていく考えはあるか伺いたい。

答弁… このところメンタル不調を訴える職員が増加していることから、今後の動向を注視し、必要に応じて保健師資格を持つ再任用の職員の配置を検討していく。

一般質問



櫻井 潤一郎 議員

産業・観光の振興について

質問… マラソン大会等スポーツを通じた大田原の特産品のPRについて伺いたい。

答弁… 大田原マラソン大会において、参加者に対して観光パンフレット及び特別にブレンドした十一味トウガラシを配布するとともに、入賞者に副賞としてコシヒカリを、また、毎日新聞社が男女の優勝者に竹工芸品を渡している。大田原市観光協会

が、観光PR及び特産品の展示販売を行っている。

2022年に開催されるとちぎ国体では、全国から多くの方の来訪が見込まれるので、スポーツ担当部門と産業観光部門が連携を強化するとともに、大田原市観光協会及び市内事業所等とともに連携を図りながら、効果的に本市のPRを行っている。

質問… 大田原クリテリウム誘客効果について伺いたい。

答弁… 当日は悪天候のため、来場者は約4000名だったが、地元の野崎東町いきいきクラブをはじめ、市内の飲食店等計9店舗による飲食ブース、地域PRコーナーを設置して、レース観戦だけではなく、サイクルツーリズムを推進する大田原市を全国に情報発信することができたものと考えている。